

Q. リハ科は宇宙とはいったいどのように関係があるのですか？

A. 重力と人間の活動という観点から、寝たきりにならないため

に効果的なリハビリテーションを研究しています。治療などに

よる長期臥床にともなう廃用症候群の予防法を検討しています。

Q. リハビリ科はパラリンピックにもかかわっているのですか？

A. はい、当科は患者さんの障害や活動内容に合わせた義足・装具

・車椅子・杖を見極めて提供しています。アスリートの障害の

評価や義足の適合判定を通して、パラ競技にかかわっています。

# KEIO REHA

Q. 脳卒中発症後、集中治療室にいる患者さんにリハビリは必要？

A. はい。発症後すぐにリハビリを開始したほうが、脳卒中の後遺

症の一つである手足の麻痺が軽くてすみます。患者さんが一生寝

たきりにならないためにリハ科医がやるべきことは多くあります。

医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー

看護師など多職種の指揮をとり、よりよい社会復帰へと導きます。

Q. 左半身の麻痺があり、10年以上も左手が動かない患者さん

がリハビリをして左手を動かせるようになる可能性はありますか？

A. もちろんあります。当科では過去に脳卒中を起こした後遺症で

麻痺の後遺症をきたした患者さんを対象に、最先端の研究を取り入

れた集中的なリハビリ訓練を行っています。それにより介入前は全

く使い物にならなかった手で、再び食事をとったり家事をしたりする事ができるようになります。患者さんは笑顔をも取り戻すようになります